かぬまスケッチ

2010 2/6 ～ 2/27

みなさんの楽しい話題やおもしろい情報などを広報広聴係へどしどしご連絡ください。
☎(63)2128まで

2/6 森田さん、エコは大切ですね！

粟野コミュニティセンターで、お天気キャスターとしても活躍している気象予報士森田正光（もりたまさみつ）さんを招いて、環境講演会が開催されました。森田さんは、気象から見る身近な環境問題を分かりやすく話していました。

また、エコライフモニターの表彰式も行われ、環境に配慮した生活を実践している東町1丁目の須藤和美さんが最優秀賞を受賞。須藤さんは、冷気が逃げないように冷蔵庫の内部にカーテンを付けるなどの工夫をしています。みなさんも身近なことから、エコライフを心がけましょう。

2/7 健康は1日にして成らず

今年で29回目となる「健康づくりのつどい―知って得するたばこの知識―」が開かれ、多くの人でにぎわいました。気軽にできるストレスチェックや肌年齢測定のコーナーは特に人気を集めていました。

また、親子で体験できるベビーマッサージや医師による禁煙相談、野菜の重量当てクイズなども行われ、大人から子どもまで楽しく健康について学んでいました。

2/11 録事尊で縁日

下粕尾の常楽寺で「録事尊大祭」が行われました。

毎年、録事尊の縁日として、多くの露店が立ち並びます。鎌倉時代の名医・中野智玄（録事法眼）を祭っていて、雷除けのご利益があると知られています。お堂では、4回の護摩法要が行われました。

境内では、軽快なお囃子が鳴り響く中、甘酒も振舞われ、終日大勢の参拝客でにぎわっていました。

2/14 ご縁がありますように

Ｔｈｅ楽市inかぬまが、バレンタインデーにちなんで、「縁結び」をテーマに開かれました。まちなか交流プラザでは、手づくり雑貨を中心にフリーマーケットや飲食店が店開き。街中は、ちびっ子忍者が駆け抜けたり、古き良き街並みそぞろ歩きやお雛様巡りなど、多彩な催し物が繰り広げられました。

いろいろな出会いや新たな発見を求める大勢の人で、一日中、にぎわいました。

声の広報聞きませんか

広報広聴係　☎(63)2128　FAX(63)2292

毎号テープでお送りします。お気軽に、広報広聴係まで電話またはファックスでお申し込みください。

4月 おすすめイベント

千手山公園さくら祭り

問い合わせ　観光物産協会　☎(60)2507

とき　4月2日(金)～11日(日)

ところ　千手山公園

※開花状況により変更になることがあります。
期間中は午後9時まで照明が点きます。(雨天中止)

2/21 ドリームチームで鹿沼をPR

フォレストアリーナでプロバスケットボールチーム「リンク栃木ブレックス」のホームゲームが行われました。この日は「かぬまデー」として、楡木日の出囃子保存会がお囃子で来場者を出迎えました。また、かぬまブランドなど市の名産品が販売されました。

ハーフタイムショーには、佐藤市長率いるバスケットチーム「カヌマンズ」が登場。満員の観客席に向けて鹿沼をPRしました。

2/21 守れ！ツツジの名所

口粟野の城山公園で、イノシシが掘り荒らした穴を埋め戻す活動を行いました。呼びかけで集まったボランティアは、地区住民など約200人。

近年、イノシシにツツジの根元を掘り荒らされる被害が続出し、穴の数は約650か所。参加者は持参したスコップやくわで、穴に土をかぶせる作業を熱心に行っていました。

汗を流した後には、地元で捕獲したイノシシ肉が入った鍋に、舌鼓を打っていました。

2/24 100歳おめでとう！高橋　和さん

板荷の高橋和(かず)さんが、100歳の誕生日を元気に迎えました。

とても手先の器用な和さんは、習字、ちぎり絵や編み物と多彩な趣味の持ち主です。少女時代に始めたピアノは80歳を過ぎるまで続けていたそうです。

長生きの秘訣を尋ねると「当たり前のことしかやってませんよ」と控えめに話します。「穏やかに静かに過ごしていれば、必ず幸せが来ますよ」と優しくほほ笑んでいました。

2/27 オリジナルな紙作り

加蘇地区コミュニティ推進協議会の主催する「ケナフ紙すき体験」が、下永野の都市農村交流館で開かれました。小・中学校の児童生徒や保護者など約50人が参加しました。

ケナフは1年草で、木材パルプの代用品として紙の原料になります。ケナフ栽培は、環境への関心を高めるために、6年前から、遊休農地を利用し始めました。

子どもたちは、はがき、名刺や賞状づくりなど、思い思いに紙すきを楽しんでいました。